

二三 「武家雜章録」

豊臣秀吉時代の烏山城主成田氏の石高が十二万石と伝えられる。

太閤秀吉公御在世諸侯分限之略

(中略)

是より内府公御旗下之分也

野州宇都宮

一、十八万石

蒲生飛騨守

野州結城、関原以後六十七万石

一、十万石

結城三河守

房州館山

一、九万二石

里見安房守

野州

一、六万石

那須衆七人

野州下妻

一、六万石

多賀谷修理亮

下野佐野

一、三万九千石

佐野修理太夫

下野皆川

一、三万石

皆川山城守

野州

一、二万五千石

水谷左京太夫

野州烏山

一、二万石

成田左衛門佐

野州山川

一、二万石

山川民部少輔

右ノ外、内府公御譜代大名ハ御年譜之卷ニ具ナリ、太閤秀吉公時代ノ

大名、多ハ関ヶ原ノ時断絶、其外御二・三代迄有之候大小名ノ家断絶

ハ、近代武家盛衰記ニ見ユ、

右諸侯分限ノ記ハ、山内伝右衛門藤原重長書副者也、